

第22回 市内企業景況調査(平成30年1月)

丹波市では、四半期ごとに市内の景気動向を把握する一助として、丹波市商工会員のご協力により、市内企業景況調査を実施している。今回の調査は、平成29年12月末を調査時点とする第3/四半期(平成29年10月～12月)実績及び平成29年第4/四半期(平成30年1月～3月)見通しの調査とした。

調査の概要

調査時点 平成29年12月
調査依頼先 丹波市商工会員の中から300事業所を抽出(内訳は下表のとおり)

業種分類	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	総計
1.建設業	4	17	7	11	9	6	54
2.製造業	5	12	7	6	16	7	53
3.小売業	12	22	4	11	7	3	59
4.卸売業	1	3	1	2	2	0	9
5.飲食・宿泊業	6	5	2	4	3	1	21
6.サービス業	12	16	5	7	8	5	53
7.その他	3	6	3	1	2	1	16
総計	43	81	29	42	47	23	265

有効回答数 265 事業所(回答率 88.3%)

調査結果

1. 今年(平成29年10月～12月)と前年同期と比較した各項目の状況

①総合的な景況

業種分類	1.好転	2.やや好転	3.不変	4.やや悪化	5.悪化	6.未回答	総計
1.建設業	1	16	23	11	3	0	54
2.製造業	2	16	24	9	1	1	53
3.小売業	0	10	27	18	3	1	59
4.卸売業	1	4	2	2	0	0	9
5.飲食・宿泊業	1	6	10	4	0	0	21
6.サービス業	3	10	27	11	2	0	53
7.その他	0	7	7	1	0	1	16
総計	8	69	120	56	9	3	265

②生産・販売状況

業種分類	1.増加	2.やや増加	3.不変	4.やや減少	5.減少	6.未回答	総計
1.建設業	1	16	24	9	3	1	54
2.製造業	4	15	21	11	2	0	53
3.小売業	0	11	24	18	4	2	59
4.卸売業	1	3	3	2	0	0	9
5.飲食・宿泊業	1	6	8	5	0	1	21
6.サービス業	4	9	25	11	1	3	53
7.その他	0	7	7	1	0	1	16
総計	11	67	112	57	10	8	265

③原材料・仕入単価

業種分類	1.上昇	2.やや上昇	3.不変	4.やや低下	5.低下	6.未回答	総計
1.建設業	4	19	29	2	0	0	54
2.製造業	3	24	25	0	0	1	53
3.小売業	6	26	23	3	0	1	59
4.卸売業	0	5	3	1	0	0	9
5.飲食・宿泊業	4	10	5	1	0	1	21
6.サービス業	7	16	25	1	1	3	53
7.その他	1	2	10	0	0	3	16
総計	25	102	120	8	1	9	265

④収益状況

業種分類	1.好転	2.やや好転	3.不変	4.やや悪化	5.悪化	6.未回答	総計
1.建設業	1	12	25	13	3	0	54
2.製造業	0	23	16	13	1	0	53
3.小売業	0	7	25	21	5	1	59
4.卸売業	1	2	3	3	0	0	9
5.飲食・宿泊業	1	5	8	6	0	1	21
6.サービス業	2	8	26	13	3	1	53
7.その他	0	5	10	1	0	0	16
総計	5	62	113	70	12	3	265

⑤資金繰り状況

業種分類	1.好転	2.やや好転	3.不変	4.やや悪化	5.悪化	6.未回答	総計
1.建設業	2	8	36	8	0	0	54
2.製造業	0	10	37	6	0	0	53
3.小売業	1	6	30	13	8	1	59
4.卸売業	0	1	4	3	0	1	9
5.飲食・宿泊業	1	4	11	4	0	1	21
6.サービス業	2	3	29	11	4	4	53
7.その他	0	2	12	1	0	1	16
総計	6	34	159	46	12	8	265

⑥人手状況

業種分類	1.過剰	2.やや過剰	3.適正	4.やや不足	5.不足	6.未回答	総計
1.建設業	0	5	25	18	6	0	54
2.製造業	0	2	27	19	5	0	53
3.小売業	0	4	35	12	8	0	59
4.卸売業	0	0	6	3	0	0	9
5.飲食・宿泊業	0	0	11	8	1	1	21
6.サービス業	0	1	29	17	4	2	53
7.その他	0	0	8	8	0	0	16
総計	0	12	141	85	24	3	265

対前年同期比の総合的な景況は全体的に好転となる。(景況D.I.4.6 4.3ポイント改善)。業種別では、飲食・宿泊業の改善が目立ち、(14.3 41.6ポイント改善)であった。その他についてもやや改善傾向であったが、厳しい状況にあるのは小売業(▲19.0 2.0ポイント改善)であった。

■建設業

総合的な景況は、わずかな悪化に転じる。生産・販売状況は(景況D.I.9.5 5.7ポイント改善)、原材料・仕入単価(▲38.9 0.7ポイント改善)、収益状況(▲5.5 5.5ポイント悪化)、資金繰り状況(3.7 9.3ポイント改善)となる。原材料は依然として高止まり状態であり、収益状況が悪化していると回答した事業所が増加した。

■製造業

総合的な景況は、わずかな悪化に転じる。生産・販売状況は(景況D.I.11.3 5.6ポイント改善)、原材料・仕入単価(▲51.9 13.4ポイント悪化)、収益状況(17.0 11.3ポイント改善)、資金繰り状況(7.6 13.3ポイント悪化)となる。依然として原材料価格が高止まりし、資金繰りに影響を及ぼしている業種もある。

■小売業

総合的な景況は やや改善の動きは見えつつある。生産・販売状況(景況D.I.▲19.3 10.3ポイント改善)、原材料・仕入単価の上昇(▲50.0 10.0ポイント悪化)、収益状況(▲32.7 1.7ポイント悪化)、資金繰り状況(▲24.1 2.2ポイント改善)となる。原材料価格が依然として上昇傾向にあり、収益状況の悪化も続いている。

■卸売業

総合的な景況は、大きく改善した。(景況D.I.33.4 19.1ポイント改善)。生産・販売状況(22.2 22.2ポイント改善)、原材料・仕入単価(▲44.5 1.6ポイント悪化)、収益状況(▲0.0 14.3ポイント改善)となる。

■飲食・宿泊業

総合的な景況は、大きく改善(景況D.I.14.3 41.6ポイント改善)。生産・販売状況(10.0 32.8ポイント改善)、原材料・仕入単価は(▲65.0 33.1ポイント悪化)、収益状況(0.0 36.4ポイント改善)となる。年末にかけて消費が大きく増えたが、仕入れ価格の上昇もあり、収益状況は思ったほど伸びなかった。

■サービス業

総合的な景況は、わずかに悪化(景況D.I.0.0 1.8ポイント改善)、生産・販売状況(景況D.I.2.0 8.2ポイント改善)、原材料・仕入単価の上昇(▲42.0 4.2ポイント改善)、収益状況(▲11.6 3.9ポイント改善)、資金繰り状況(▲20.4 1.9ポイント悪化)となる。

2. 前期(平成29年7月～9月)と比較した今期(平成29年10月～12月)の各項目の状況

①総合的な景況

業種分類	1.好転	2.やや好転	3.不変	4.やや悪化	5.悪化	6.未回答	総計
1.建設業	1	12	28	10	3	0	54
2.製造業	2	19	24	7	1	0	53
3.小売業	1	16	27	11	3	1	59
4.卸売業	1	5	2	1	0	0	9
5.飲食・宿泊業	1	7	10	3	0	0	21
6.サービス業	2	12	27	10	2	0	53
7.その他	0	5	8	1	0	2	16
総計	8	76	126	43	9	3	265

②生産・販売状況

業種分類	1.増加	2.やや増加	3.不変	4.やや減少	5.減少	6.未回答	総計
1.建設業	1	11	32	7	2	1	54
2.製造業	6	16	22	8	1	0	53
3.小売業	2	17	23	13	3	1	59
4.卸売業	1	4	3	1	0	0	9
5.飲食・宿泊業	1	7	10	2	0	1	21
6.サービス業	2	15	24	7	3	2	53
7.その他	0	9	6	1	0	0	16
総計	13	79	120	39	9	5	265

③原材料・仕入単価

業種分類	1.上昇	2.やや上昇	3.不変	4.やや低下	5.低下	6.未回答	総計
1.建設業	2	14	36	1	0	1	54
2.製造業	2	18	33	0	0	0	53
3.小売業	4	20	33	2	0	0	59
4.卸売業	0	5	3	1	0	0	9
5.飲食・宿泊業	3	6	10	1	0	1	21
6.サービス業	6	9	32	1	1	4	53
7.その他	0	2	11	0	0	3	16
総計	17	74	158	6	1	9	265

④収益状況

業種分類	1.好転	2.やや好転	3.不変	4.やや悪化	5.悪化	6.未回答	総計
1.建設業	0	10	30	12	2	0	54
2.製造業	1	19	26	7	0	0	53
3.小売業	1	16	23	15	4	0	59
4.卸売業	1	2	5	1	0	0	9
5.飲食・宿泊業	1	5	9	4	1	1	21
6.サービス業	1	12	25	11	2	2	53
7.その他	0	6	9	1	0	0	16
総計	5	70	127	51	9	3	265

⑤資金繰り状況

業種分類	1.好転	2.やや好転	3.不変	4.やや悪化	5.悪化	6.未回答	総計
1.建設業	1	5	40	7	1	0	54
2.製造業	1	9	40	3	0	0	53
3.小売業	1	10	32	11	4	1	59
4.卸売業	0	2	5	2	0	0	9
5.飲食・宿泊業	1	4	12	3	0	1	21
6.サービス業	1	5	29	10	4	4	53
7.その他	0	4	10	1	0	1	16
総計	5	39	168	37	9	7	265

⑥人手状況

業種分類	1.過剰	2.やや過剰	3.適正	4.やや不足	5.不足	6.未回答	総計
1.建設業	0	2	24	22	6	0	54
2.製造業	0	0	28	20	5	0	53
3.小売業	0	4	34	12	8	1	59
4.卸売業	0	0	6	3	0	0	9
5.飲食・宿泊業	0	1	10	8	1	1	21
6.サービス業	0	2	28	18	3	2	53
7.その他	0	0	9	7	0	0	16
総計	0	9	139	90	23	4	265

対前期(7月～9月)比の総合的な景況は、緩やかな回復傾向となる。(総計景況D.I.12.3、前期より8.5ポイント改善)。業種別では、建設業(0.0、前期より5.5ポイント悪化)、製造業(24.5、7.5ポイント改善)、小売業(5.2、12.3ポイント改善)、卸売業(55.6、41.3ポイント改善)、飲食・宿泊業(23.8、55.6ポイント改善)、サービス業(3.8、3.4ポイント悪化)となる。秋の行楽シーズンや年末需要により、小売業、飲食・宿泊業は大きく改善となった。

■建設業

総合的な景況は(今期D.I.0.0で5.5ポイント悪化)。生産・販売状況(5.6、9.5ポイント悪化)、原材料・仕入(▲28.3、0.8ポイント改善)、収益状況(▲7.4、12.9ポイント悪化)、資金繰り状況(▲3.7、1.8ポイント改善)。公共工事が出されてもなかなか入札できない状況が続いている。

■製造業

総合的な景況は(今期D.I.24.5、7.5ポイント改善)。生産・販売状況(24.5、7.6ポイント改善)、原材料仕入(▲37.7、13.2ポイント悪化)、収益状況(24.5、35.8ポイント改善)、資金繰り状況(13.2、22.6ポイント改善)原材料の高止まりが続いているが、年末需要等により、収益、資金繰りは改善した。

■小売業

総合的な景況は(今期D.I.5.2、12.3ポイント改善)。生産・販売状況(5.2、17.5ポイント改善)、原材料・仕入(▲37.3、0.3ポイント悪化)、収益状況(▲3.4、15.9ポイント改善)。資金繰り状況(今期DI▲6.9、6.9ポイント改善)年末需要による改善もあるが、原材料の上昇分を価格転嫁できている企業が少しずつ増えている。

■卸売業

総合的な景況は(今期D.I.14.3、41.3ポイント改善)。生産・販売状況(44.5、58.7ポイント改善)、原材料・仕入(▲44.5、15.9ポイント悪化)、収益状況(22.2、22.2ポイント改善)。資金繰り状況(0.0、14.3ポイント改善)。

■飲食・宿泊業

総合的な景況は(今期D.I.23.8、55.6ポイント改善)。生産・販売状況(30.0、61.8ポイント改善)、原材料・仕入(▲40.0、12.7ポイント悪化)、収益状況(5.0、27.8ポイント改善)、資金繰り状況(10.0、32.7ポイント改善)。年末需要もあり、全体的に売上・収益が改善となった。

■サービス業

総合的な景況は(今期D.I.3.8、3.4ポイント悪化)。生産・販売状況(今期DI13.7、15.7ポイント改善)、原材料・仕入(▲26.5、17.7ポイント改善)、収益状況(0.0、9.1ポイント改善)、資金繰り状況(▲16.4、3.9ポイント改善)。年末需要もあり、生産・販売状況が大きく改善した。

3. 今期と比較した来期(平成30年1月～3月)の見通し

①総合的な景況

業種分類	1.好転	2.やや好転	3.不変	4.やや悪化	5.悪化	6.未回答	総計
1.建設業	2	8	30	12	2	0	54
2.製造業	4	8	29	10	2	0	53
3.小売業	1	7	29	20	2	0	59
4.卸売業	1	2	2	4	0	0	9
5.飲食・宿泊業	0	3	10	6	1	1	21
6.サービス業	0	9	25	16	3	0	53
7.その他	1	3	10	2	0	0	16
総計	9	40	135	70	10	1	265

②生産・販売状況

業種分類	1.増加	2.やや増加	3.不変	4.やや減少	5.減少	6.未回答	総計
1.建設業	2	7	33	8	3	1	54
2.製造業	4	9	24	14	2	0	53
3.小売業	1	9	23	23	2	1	59
4.卸売業	1	0	4	4	0	0	9
5.飲食・宿泊業	0	4	7	8	0	2	21
6.サービス業	0	9	24	14	3	3	53
7.その他	0	4	9	2	0	1	16
総計	8	42	124	73	10	8	265

③原材料・仕入単価

業種分類	1.上昇	2.やや上昇	3.不変	4.やや低下	5.低下	6.未回答	総計
1.建設業	4	12	38	0	0	0	54
2.製造業	4	13	36	0	0	0	53
3.小売業	5	13	39	2	0	0	59
4.卸売業	0	3	5	1	0	0	9
5.飲食・宿泊業	2	6	9	2	0	2	21
6.サービス業	6	10	29	3	1	4	53
7.その他	0	2	10	1	0	3	16
総計	21	59	166	9	1	9	265

④収益状況

業種分類	1.好転	2.やや好転	3.不変	4.やや悪化	5.悪化	6.未回答	総計
1.建設業	0	9	32	10	3	0	54
2.製造業	3	9	29	10	2	0	53
3.小売業	1	4	26	27	1	0	59
4.卸売業	1	0	4	4	0	0	9
5.飲食・宿泊業	0	2	7	8	2	2	21
6.サービス業	0	11	18	19	4	1	53
7.その他	1	2	9	4	0	0	16
総計	6	37	125	82	12	3	265

⑤資金繰り状況

業種分類	1.好転	2.やや好転	3.不変	4.やや悪化	5.悪化	6.未回答	総計
1.建設業	0	5	41	7	1	0	54
2.製造業	0	9	38	6	0	0	53
3.小売業	1	5	36	12	5	0	59
4.卸売業	0	2	4	3	0	0	9
5.飲食・宿泊業	0	2	9	8	0	2	21
6.サービス業	0	7	26	14	2	4	53
7.その他	1	1	13	0	0	1	16
総計	2	31	167	50	8	7	265

⑥人手状況

業種分類	1.過剰	2.やや過剰	3.適正	4.やや不足	5.不足	6.未回答	総計
1.建設業	0	3	23	21	7	0	54
2.製造業	0	0	30	18	5	0	53
3.小売業	0	3	37	11	8	0	59
4.卸売業	0	1	5	3	0	0	9
5.飲食・宿泊業	0	2	10	6	1	2	21
6.サービス業	0	1	33	14	3	2	53
7.その他	0	0	10	6	0	0	16
総計	0	10	148	79	24	4	265

来期(1月～3月)において、全体の景況予想は(景況D.I.▲11.7、17.0ポイント悪化)業種別では、建設業(▲7.4、13.0ポイント悪化)、製造業(0.0、17.0ポイント悪化)、小売業(▲23.7、16.5ポイント悪化)、卸売業(▲11.1、11.1ポイント悪化)、飲食・宿泊業(▲20.0、29.1ポイント悪化)、サービス業(▲18.8、22.4ポイント悪化)となっている。年末需要の反動や、閑散期になるため、悪化を予想する企業が大幅に増加した。

■建設業

総合的な景況は今期に比して(来期D.I.▲7.4、13.0ポイント悪化)、生産・販売状況(▲3.8、11.7ポイント悪化)、原材料(▲29.6、10.7ポイント悪化)、収益状況(▲7.4、13.0ポイント悪化)、資金繰り状況(▲5.5、11.2ポイント悪化)となる。工事受注量が落ち込む時期であり、悪化を予想する企業が多かった。

■製造業

総合的な景況は今期に比して(来期D.I.0.0、17.0ポイント悪化)、生産・販売状況(▲5.7、26.4ポイント悪化)、原材料(▲32.1、14.7ポイント悪化)、資金繰り状況(5.7、9.5ポイント改善)となる。年末と比べ需要が停滞する時期であり、悪化を示す企業が目立った。

■小売業

総合的な景況は今期に比し(来期D.I.▲23.7、16.5ポイント悪化)。生産・販売状況(▲25.9、24.1ポイント悪化)、原材料(▲27.1 5.7ポイント悪化)、収益状況(▲39.0、23.0ポイント悪化)、資金繰り状況(▲18.6、3.1ポイント悪化)となる。年末需要の反動から、需要が停滞する懸念を示す回答が目立った。

■卸売業

総合的な景況は今期に比して(来期D.I.▲11.1、11.1ポイント悪化)、生産・販売状況(▲33.3、33.3ポイント悪化)、収益状況(▲22.2、6.4ポイント改善)、資金繰り状況(▲11.1、3.2ポイント悪化)となる。小売業同様に年末需要による反動を懸念している。

■飲食・宿泊業 総合的な景況は今期に比して(来期D.I.20.0、29.1ポイント悪化)、生産・販売状況(▲21.0、25.5ポイント悪化)、収益状況(▲42.1、46.6ポイント悪化)、資金繰り状況(▲31.6、27.0ポイント悪化)と予想している。年末にかけては、大きく売上・収益を伸ばしたが、1月以降は閑散期となり、大幅な減少を予想している声が目立った。

■サービス業

総合的な景況は今期に比して(来期D.I.▲18.8、22.4ポイント悪化)。生産・販売状況(▲16.0、24.0ポイント悪化)、原材料(▲24.5 19.8ポイント改善)、収益状況(▲23.0、23.0ポイント悪化)、資金繰り状況(▲18.4、7.3ポイント悪化) 他業種同様に年末需要の反動を予想する事業所が多かった。

4. 経営上の問題点(複数回答)

	1.建設業	2.製造業	3.小売業	4.卸売業	5.飲食・宿泊業	6.サービス業	7.その他	総計
1.売上の停滞・減少	20	22	37	5	8	23	4	119
2.原材料・仕入価格上昇	13	19	21	3	12	16	3	87
3.人件費の増加	12	15	12	0	5	10	3	57
4.材料費・人件費以外経費の上昇	8	8	5	0	3	10	2	36
5.利益の減少	13	10	24	4	7	19	3	80
6.競争の激化	17	10	22	1	3	15	5	73
7.需要の停滞	7	10	21	2	5	11	2	58
8.取引先減少	1	4	8	3	0	7	1	24
9.取引条件悪化	1	1	2	0	0	5	2	11
10.事業資金借入難	2	1	4	0	0	3	0	10
11.売掛金・代金回収	2	0	2	2	0	4	0	10
12.建物・機械設備の老朽化	10	10	15	2	6	14	3	60
13.熟練技術者の確保難	21	13	3	1	1	3	4	46
14.従業員の確保難	21	20	16	3	7	17	7	91
15.その他	4	5	5	0	2	2	2	20
総計	152	148	197	26	59	159	41	782

経営上の問題点

業種分類	1位	2位	3位	4位	5位
1.建設業	熟練技術者の確保難	従業員の確保難	売上の停滞・減少	競争の激化	利益の減少
2.製造業	売上の停滞・減少	従業員の確保難	原材料・仕入価格上昇	人件費の増加	熟練技術者の確保難
3.小売業	売上の停滞・減少	利益の減少	競争の激化	原材料・仕入価格上昇	需要の停滞
4.卸売業	売上の停滞・減少	利益の減少	原材料・仕入価格上昇	取引先の減少	従業員の確保難
5.飲食・宿泊業	原材料・仕入価格上昇	売上の停滞・減少	利益の減少	従業員の確保難	建物・機械設備の老朽化
6.サービス業	売上の停滞・減少	利益の減少	従業員の確保難	原材料・仕入価格上昇	競争の激化
7.その他	従業員の確保難	競争の激化	売上の停滞・減少	熟練技術者の確保難	原材料・仕入価格上昇
総計	売上の停滞・減少	従業員の確保難	原材料・仕入価格上昇	利益の減少	競争の激化

4. 経営上の問題点(その他の意見)

■建設業

東京オリンピックの影響で材料単価があがり、品不足になる可能性がある。

■製造業

いかにして欠品を減少するか

技能実習生に頼らない体制をとり技能の継承

女性パートの人に技術を要する仕事を出来るものから覚えてもらっているが、全面的に任せる人が中心になる必要がある。

人件費のUPの為、最低賃金上昇により利益が減少

人材不足による残業の増加

■小売業

野菜の高騰。肉より野菜が高い。白菜、大根。年末に割引券を配り1月の減少を防ぐ。

人口減少

ローソンの影響で売上対前年比35.1%

ふるさと納税の品の減少

生産のキャパシティの上限がなかなかあげられないこと。

介護業界における法の改正

■サービス業

人がいない

資金繰りがかみ合っていない

大手企業の参入による客単価の減少

高齢の熟練作業員の継続雇用と若手の技術継承。

■その他

なし

■卸売業

なし

■飲食・宿泊業

なし

5. 当面の重点経営施策

	1.建設業	2.製造業	3.小売業	4.卸売業	5.飲食・宿泊業	6.サービス業	7.その他	総計
1.販売促進・販路拡大	21	22	40	5	13	21	10	132
2.経費節減	18	16	15	3	7	26	5	90
3.新商品・新技術開発	3	17	9	0	6	4	5	44
4.情報力強化	10	7	10	2	4	11	10	54
5.営業力強化	25	20	22	3	5	23	11	109
6.技術力強化	15	16	5	0	0	6	4	46
7.人材育成	29	32	22	3	9	19	8	122
8.職場環境改善	6	19	7	0	0	6	2	40
9.その他	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	127	149	130	16	44	116	55	637

当面の重要施策

業種分類	1位	2位	3位	4位	5位
1.建設業	人材育成	営業力強化	販売促進・販路拡大	経費削減	技術力強化
2.製造業	人材育成	販売促進・販路拡大	営業力強化	職場環境改善	技術力強化
3.小売業	販売促進・販路拡大	営業力強化	人材育成	経費削減	情報力強化
4.卸売業	販売促進・販路拡大	営業力強化	経費削減	人材育成	情報力強化
5.飲食・宿泊業	販売促進・販路拡大	人材育成	経費削減	新商品・新技術開発	営業力強化
6.サービス業	経費削減	営業力強化	販売促進・販路拡大	人材育成	情報力強化
7.その他	営業力強化	販売促進・販路拡大	情報力強化	人材育成	経費削減
全業種	販売促進・販路拡大	人材育成	営業力強化	経費削減	情報力強化

景況状況に関係なく、それぞれの企業から頂戴した意見を紹介しています

(ご意見には、同業種においても個体差がございますのでご容赦ください)

5. 当面の重点経営施策(その他の意見)

■建設業

人手不足と人材育成が今後の当社の課題(人手不足による)

(4)の情報力強化については収集力はもとより、発信力を重点的に強化したい。新聞折込チラシのような広域でがいた性の低い発信から、SNS・HPなどターゲット層を絞り込み、更にDM・レター等、地道ではあるが、よりパーソナルな手法で確実に新鮮な情報を手渡し感覚で届けたい。その為の戦略について模索中である。

業界との共存。熟練技術者を共用している。

これまでの経験を生かしつつ新しいものに挑戦したい。出来る事を考えたい。

■製造業

省力化の機械設備の投資を進める

■小売業

なし

■卸売業

なし

■飲食・宿泊業

設備改修

リピーターへの呼びかけ。新プラン企画

平日の売上増への対策が重大課題

■サービス業

人手不足

資金繰り改善

働き方改革として残業時間の短縮化を進めている。

■その他

なし

設問(6)-1 商工会からの情報はどのように入手されていますか。

1. ホームページ	43 社
2. FAXレター	205 社
3. 商工会報	85 社
4. 職員による巡回訪問	76 社
5. 直接お問い合わせ	36 社
6. 支部・部会事業	27 社
7. SNS	10 社
8. その他	1 社

設問(6)-2 ホームページから情報を得ているとお答えいただいた方にお伺いします。

①主にどのような情報を入手されていますか。また、入手したいですか。

1. セミナー	49 社
2. 補助金	59 社
3. イベント	18 社
4. その他	6 社

設問(6)-2 ホームページから情報を得ているとお答えいただいた方にお伺いします。

②ホームページの閲覧はどのようにされていますか。

1. パソコン	84 社
2. スマートフォン	14 社
4. その他	2 社

設問(6)-3 FAXレターについてご意見をお聞かせください。

●活用度

1. 活用している	159 社
2. 活用していない	62 社
3. 知らなかった	4 社

●情報量

1. 多い	4 社
2. 適度	195 社
3. 少ない	5 社

・その他ご意見(抜粋)

■建設業

内容が豊富
技術の提供についての情報をいただきたい。

■製造業

FAXレターは読んではいりますが活用まではいかない
必要なものだけ活用している
商工会の現状がわかっていない
FAXレターの情報をFAXレター以外でもっと告知してほしい。

■小売業

最近縁遠く感じている。後継者への事業継承ですすめている。
ありがとうございます
今年、昨年末から寒い日が続き、水道管の修繕等で工事が多く、とても忙しい年末明けだった。まだ半分以上の工事が終わっていない。
FAXがないのでメールで拝見しています。
いろいろな面で役立ち嬉しく思います

■卸売業

たまに活用している

■飲食・宿泊

冬になるとお客様は増えるが週末に集中するので平日との偏りがある。
店舗改装してから来店者数も増え全体の景気は良くなった。
興味がある情報、セミナーがあっても仕事上、参加することが出来ない。

■サービス業

こちらのミスにてFAX用紙不足やインクフィルム切れなどあり、送信される日が決まっている様なら事前に連絡があれば幸いです。

FAXターの使用のあり方を今一度考えてほしい。

例年冬は忙しさが落ち着くが今年はとても年末あわただしく忙しさが続いた。所持しているトラックはフル稼働
競合会社と値段で負けるので、取引顧客が減っている
ありません

■その他

いつもお世話になっております。FAXター目を通させてはいますが活用していません。申し訳ないです。
人材不足は相変わらずの状況。知り合いをあたる。